

これまでの議論のまとめ(案)

平成31年2月28日
観光庁

これまでの議論のまとめ(案)①

I. DMO全般の底上げに向けた改善の方向性について

1. DMOの目的・役割のあり方・明確化について

- DMOの目的は、観光で地域が稼げる仕組みづくりや、オーバーツーリズム対策を含めた環境整備をすることによる地域経済の成長にあり、ひいては特に課題となっている観光消費の拡大・地方誘客に係る観光ビジョンに掲げられた目標の達成を通じた国全体の経済成長、地方創生に貢献する経済政策であることを、改めて確認すべき。
- 地域は、DMOの組織論ではなく、自治体を含む観光振興に関わる地域全体の体制に関する議論を行った上で、DMOの目的と役割を整理すべき。
- DMOの既存の業務について、棚卸しを行い、DMOが本来の機能を発揮できるよう、取組の選択と集中を行うべき。
- 国、JNTO、各層DMO、自治体の取組が重複することなく、効率的に実施されるよう、国、JNTO、他のDMOの既存の取組で活用可能なものを最大限活用することを前提として、役割及び取組内容を精査すべき。
- 各層DMOは、地域における役割分担に基づき、地域の観光資源や受入環境の整備等の着地整備を、最優先に取り組むべき。
- 情報発信に関しては、DMOがJNTOと連携して写真・動画等、対外的な発信のための素材やツールの作成を行い、それらを活用した対外的な発信については、JNTOを最大限活用していくべき。
- 地域は、各層DMOの地域における目的・役割について、上記の点に留意して検討を行い、DMO・自治体をはじめ地域の関係者全体の役割分担及び取組内容を明確化すべき。
- 国は、各地域における役割分担の明確化が促進されるよう、上記の点に留意して国、JNTO、各層DMO、自治体の役割分担に関する方向性を示すべき。

これまでの議論のまとめ(案)②

I. DMO全般の底上げに向けた改善の方向性について (続き)

2. DMOの組織・財源・人材(人材育成)のあり方について

- DMOの意思決定は、地域の関係者が中心となって行うこと。その観点から、DMOの組織(意思決定の仕組み)には、文化財、国立公園、農泊、アクティビティーの関係者等、デスティネーションの関係者の参画を確保すべき。
- 地域は、DMOの財源について、安定的かつ多様な財源の確保を目指すべき。その観点から、国が一律の方針を示すのではなく、地域の実情を踏まえ、条例による特定財源(宿泊税、入湯税等)の確保を目指すことが望ましい。DMOは、受益者負担の観点等から各財源の特性を踏まえ、それらの地域の多様な財源をマネジメントし、活用することが重要。
- 出向職員を中心とした組織体制から脱却し、組織全体の専門性を維持・向上することが可能となるよう、プロパー職員の確保・育成と、即戦力となる外部人材の登用の両面について取組を実施すべき。

3. 上記方針の周知について

- 国は、1・2に記載された方針を踏まえ、全ての地域やDMOにとって分かりやすい表現に留意したガイドラインを策定し、周知徹底を図るべき。

II. 世界水準のDMOに関する次年度の具体的検討の方向性について

1. 世界水準のDMOに関する基準について

- 「DMOの全般の底上げに向けた改善の方向性」を踏まえた内容にするべき。
- 全国一律の定量的な基準ではなく、地域の特色やターゲット等に応じた柔軟な選定が可能なものとするべき。
- 「持続可能な観光地域づくり」の観点にも留意された内容とするべき。

2. 世界水準のDMOの選定プロセスについて

- 世界水準のDMOは、第三者である有識者によって選定されることとし、世界水準のDMOへ選定された後の取組についても、国と有識者によって継続的にフォローアップし、国と地域が一体となってPDCAサイクルを回していくべき。

- 本検討会においては、年度内に予定する中間とりまとめにおいて、**①DMO全般の底上げに向けた改善の方向性**、**②世界水準のDMOに関する次年度の具体的検討の方向性**を提示することを目指し、これまでの各委員のご指摘やヒアリング等を踏まえて、議論して頂くこととしては如何か。

2020年までのスケジュール

今年度

世界水準のDMOのあり方に関する検討会 中間とりまとめ

現在のDMOの取組状況を踏まえ、
①DMO全般の底上げに向けた改善の方向性
②世界水準のDMOに関する次年度の具体的検討の方向性
 を提示。

2019年度

世界水準のDMOに関する詳細な制度設計

上記とりまとめを踏まえ、
 世界水準DMOに関する登録の技術的基準や選定
 手法等の詳細な制度設計について検討。

2020年

世界水準のDMOの形成・確立

中間とりまとめに向けた議論の方向性(案)

- 中間とりまとめにおいて、以下2点について提示することを目指して議論することとしては如何か。

①DMO全般の底上げに向けた改善の方向性

- ✓ 観光ビジョンに掲げられた目標達成に向けて取組むべき課題のうち、各地域やDMOに求められている役割は何か。
- ✓ JNTO、各層DMO、自治体の役割分担はどうあるべきか。
- ✓ DMOにおける組織・財源はどのようなものであるべきか。

②世界水準のDMOに関する次年度の具体的検討の方向性

- ✓ 世界水準のDMOの形成・確立に向け、必要な検討事項、求められる視点は何か。